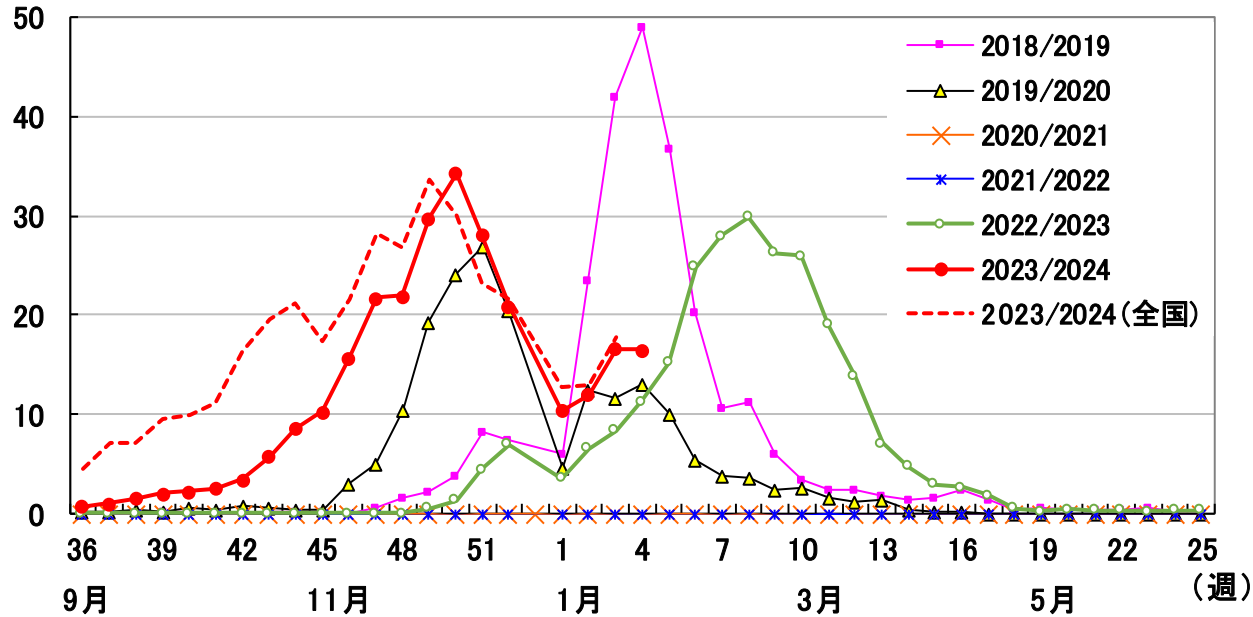


# インフルエンザの発生状況(富山県)

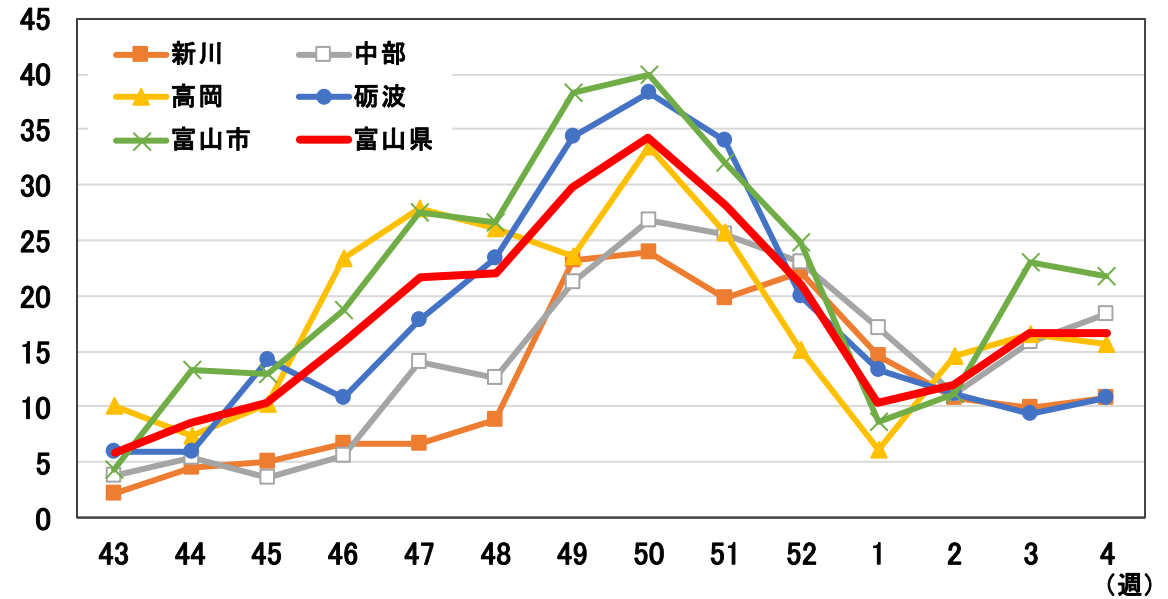
【第4週(2024/1/22~1/28) 感染症発生動向調査速報値 (2024/1/31時点)】

(人/定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)



(人/定点) 図2. 厚生センター・保健所別患者報告数(2023/2024)



- 富山県の患者報告数(図1)は今週(第4週) **16.56**人/定点となり、先週(16.60人/定点)から横ばいであった。
- 厚生センター・保健所別に見ると(図2)、中部管内で先週からやや増加したほかは、ほぼ横ばいであった。

図3. 年代別割合(富山県、第4週)

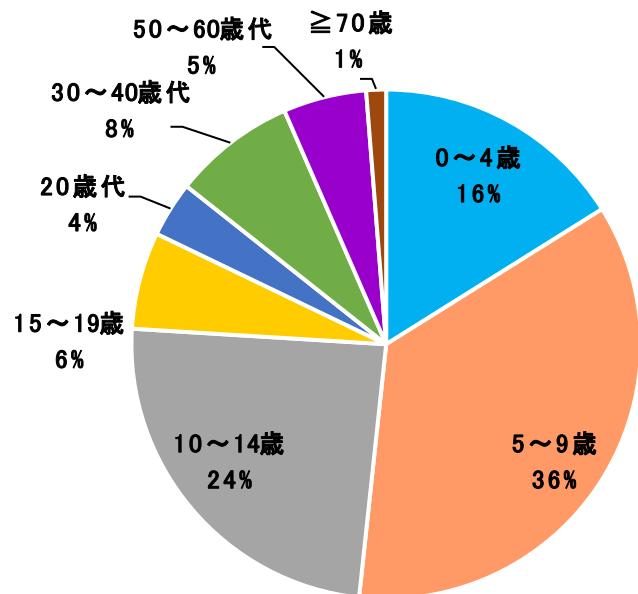
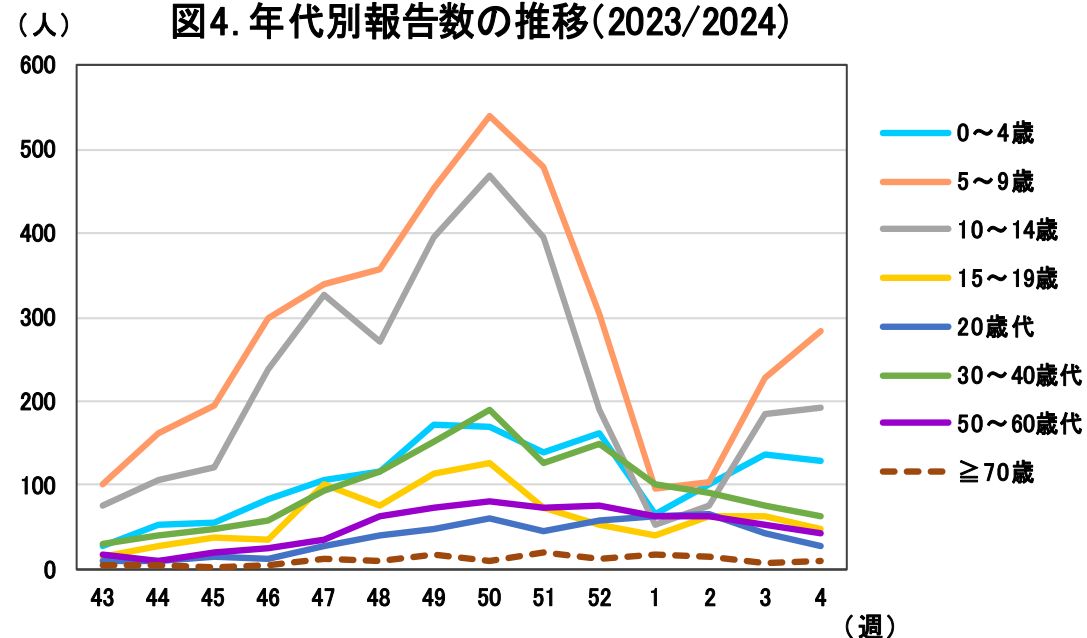


図4. 年代別報告数の推移(2023/2024)



- 富山県の第4週の年代別割合（図3）では、15歳未満の小児が76%を占めた。
- 年代別報告数の推移（図4）では、5~9歳（橙色）の年代が先週から増加した。その他の年代では減少または横ばいであった。
- インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は第4週に30件（小学校19件、中学校6件、高等学校5件）の報告があった。

富山県インフルエンザ関連情報HP：<https://www.pref.toyama.jp/120507/kurashi/kenkou/iryuu/kj00007295.html>

図5. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第3週)

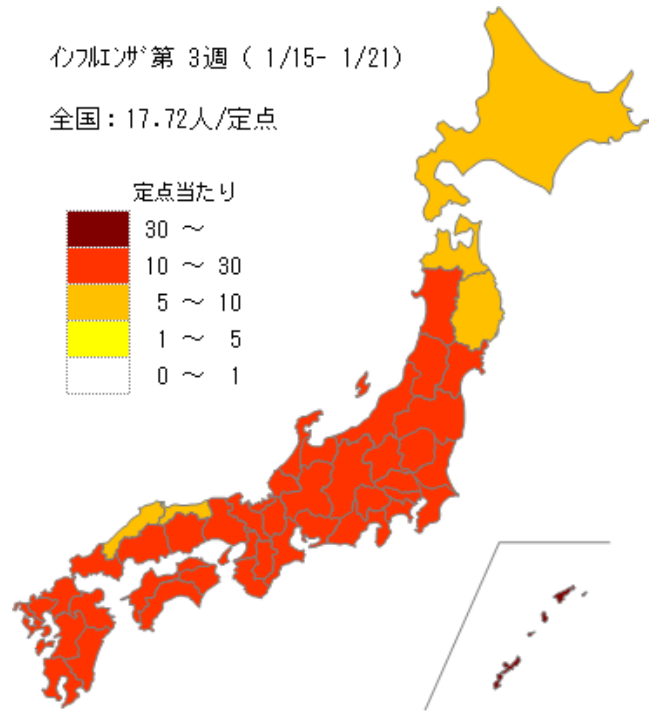
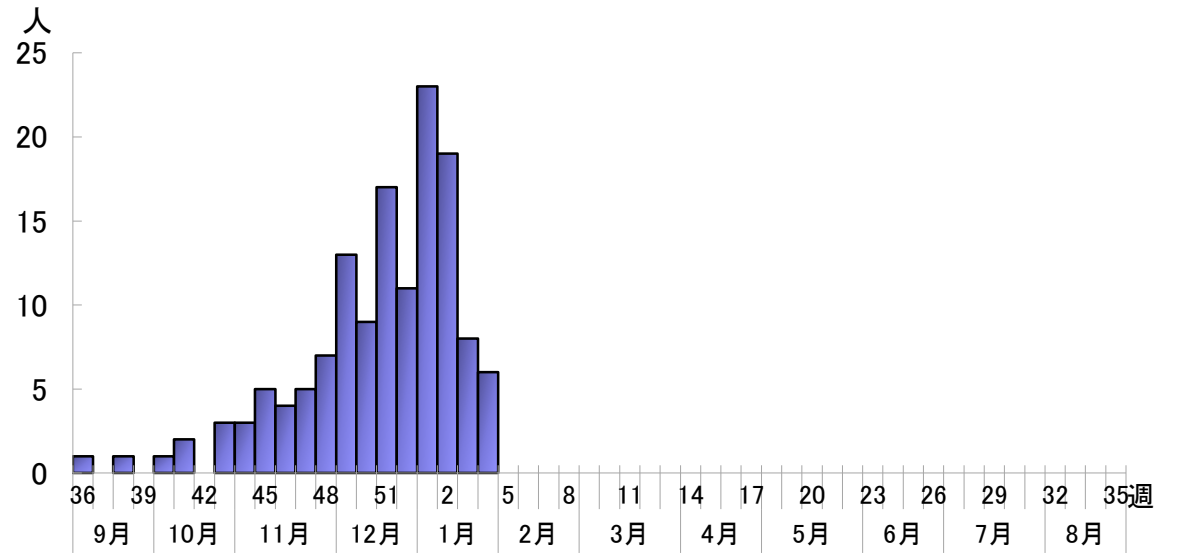


図6. インフルエンザ入院患者報告数(第4週)



- 全国では第3週に17.72人/定点となり、第2週(12.99)から増加した。都道府県別(図5)では、42都府県で注意報レベルの目安である10人/定点を超えている。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス(図6)では、第4週に6例の報告(50歳代:1例、70歳代:1例、80歳以上:4例)があった。
- インフルエンザ定点の患者報告数は先週から横ばいであったが、引き続き今後の発生動向を注視する必要がある。